



号外

No. 427

1991. 9. 25

三池炭鉱  
労働組合

電話 53-3033  
炭電 528

保安を守り労働条件向  
上のために力をあわせ  
てたたかおう

### 参院福岡補選

# まきの茶子<sup>ちいこ</sup>氏の必勝をめざそう

九月二十九日投票

自民党の本村和喜参議院議員（福岡選挙区）の死去に伴う補欠選挙は十一日告示、二十九日投票に向けて現在激しい選挙戦がくりひろげられています。

今回の補欠選挙は、福岡県が舞台となっていますが、今の政治状況に対する有権者の意識が来年度に迫った参院通常選挙の行方を探る意味でも重要な意義があります。今国会での政治の争点は、証券・金融スキャンダル、小選挙区比例代表並立制の導入を柱とする政治改革関連法案、それに国連平和維持活動（PKO）の三点が最大の課題となっています。

私たち炭鉱労働者にとって、来年度から施行される第九次石炭政策下での現存炭鉱の維持・存続と、平和で民主的な政治を確立するため、「まきの茶子」を推せんし、たたかいを進めています。三池炭鉱に働く仲間の支援とご協力をお願い致します。

## 小選挙区制政府案を廃案に

### 四割の得票で議席は八割

海部内閣が国会に提案した政治改革法関連三法案（公選法改正案、政党助成法案、政治資金規正法改正案）は、全野党と国民から「自民党の党利党略」と批判され、撤回が求められています。

政府案は、自民党が四割の得票で議席の八割を占め、民意を否定する悪法であり、小沢前幹事長は「自民党が四百議席を占め、野党をふみつぶす」と発言しています。

こんな法律が通れば、国民の意思とは無関係に国会が運営され、消費税法のような国民生活破壊が続く、自衛隊の海外派兵から憲法改正まで自民党の独裁によって、思うままの政治が行われていきます。

## 政治資金の規制強化を急げ

自治省が公表した平成二年度分の政治資金収支報告は、収入額千八百四十五億円で、三年連続して最高記録を更新しました。

この数字はリクルート事件に対する反省もなく、なりふり構わぬ姿で資金集めを続けています。現行法では、資金の受け皿となる団体を幾つもつくり、献金を百万円以下の小口に分けて献金者名も隠し、脱税行為をまねがれています。とくに近隣の福岡県衆議院議員・山崎拓氏は一億一千八十八万円、同麻生太郎氏一億三千四百九十二万円、熊本県衆議院議員・野田毅氏二億一千六百万円など、金権・腐敗の体質は依然として続いています。

## 証券・金融スキャンダル 徹底解明に独立監視機関を

千七百三十億円、この金額は特定の大企業、顧客にだけに行っていたヤミの損失補填であります。また、暴力団と組んでの株価操作が証券スキャンダルとして世界中の不信を招いています。退職金など、なけなしの資金をつぎこんだ一般投資家の怒りは当然です。

このような事件の再発防止には、事件の徹底究明と強力な権限を持った監視機関の創設が必要です。大蔵省・OBの天下りが多数を占める証券業界との関係を断つには、大蔵省から独立したSEC（証券取引委員会）が必要であります。リクルート事件や今回の証券・金融スキャンダルが示しているように「政・財・官」の癒着構造こそ正さなければなりません。

## 全国注視の意義ある補選

消費税問題とリクルート疑惑が争点になった一昨年二月の補選は「福岡の乱」と言われ、その後、参議院選で与野党逆転の先取りとなりました。消費税の問題が焦点となった昨年六月の選挙も自民党政治への厳しい批判となって表われ、国民の政治不信を裏付けました。

今回の選挙はこれまでの政治の惰性をやめさせ大企業中心の政治・経済から、生活者中心の政治・経済へと変えていかなければなりません。

このような意味において、今回の参議院補選は単に福岡県の選挙にとどまらない大きな意味があります。

炭鉱に働く仲間の力で「まきの茶子」の勝利をかちとり、三たび福岡から政治変革の旋風を巻き起こしましょう。



# まきの茶子

くらしは政治そのものです。

# あなたの一票が政治の流れを変える